



結核しずおか

21号2007年9月21日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部
〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 増田利男

印刷 明和印刷株式会社



巻頭言

結核予防法廃止とこれからの結核対策

わが国の結核対策については、大正8年の旧法施行以来、昭和26年の全面改正、平成16年の改正（翌年4月施行）を経て、長きに亘りその拠所であった結核予防法が本年3月31日に廃止され、翌4月1日からは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染症法」）と「予防接種法」を新たな拠所とすることとなりました。

結核は、感染症法において、二類感染症として医師の届出が「診断後直ちに」と改められるとともに、入院勧告（従来の入所命令）や就業制限、積極的疫学調査としての接触者健診（従来の定期外健康診断）等の取組により、その制圧に向けてまん延防止対策が強化されています。

一方、今回の感染症法への統合により、入院勧告や就業制限、結核患者に対する医療の公費負担申請等については、感染症診査協議会において協議されることにより、これまで以上に人権に配慮した対応が図られています。

本県における最近の結核に関する状況については、全国的には減少が続いている新登録患者数が県内では平成18年に765人と対前年比30人増であるほか、BCG予防接種率が平成18年度の県平均は87%に留まるなど、予防・まん延防止対策の強化が求められており、正しい知識の普及・啓発等、結核対策のさらなる推進に向けて、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この4月の県組織改正により、旧健康福祉部は「厚生部」として新たなスタートを切るとともに、私も林前室長（現：厚生部理事）の後任として着任いたしました。もとより微力ですが全力を尽くす所存ですので、重ねて御協力をお願い申し上げます。



平成19年9月

静岡県厚生部医療健康局疾病対策室長

竹内 浩 視

全国・静岡県の結核の統計

平成18年度末現在の本県の結核登録患者数は、前年に比べて161人減少し、1,564人になりました。また、平成18年における新登録患者数は、逆に前年と比較し30人増加し、765人になりました。

新登録患者の年齢構成別では、60歳以上の割合が約72%と高く、免疫力が低下している高齢者の方は、定期健康診断や日ごろの健康チェックが大切になります。

結核の統計

(静岡県厚生部疾病対策室資料より抜粋)

1 結核登録患者

(人)

区分	年末現在登録患者数				年内新登録患者数			
	全国		本県		全国		本県	
	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対
昭和36年	1,615,099	1717.1	38,692	1391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
50	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
平成15年	77,211	60.5	1,854	48.9	31,638	24.8	852	22.5
16	72,079	56.4	1,853	48.8	29,736	23.3	874	23.0
17	68,508	53.6	1,725	45.5	28,319	22.2	735	19.4
18	—	—	1,564	41.2	—	—	765	20.2

2 結核死亡者数

(人)

年次	全国	本県	死因順位(全国)
昭和36年	27,916	652	7位
40	22,366	560	7
60	4,692	126	16
平成15年	2,337	61	25
16	2,328	57	25
17	2,295	67	25

平成18年における罹患率

(治療が必要な者…10万人対)による各県の状況

罹患率の低い県…山形県8.6 岩手県8.8
福島県9.6 長野県10.4
島根県10.7

罹患率の高い県…徳島県20.9 愛知県21.0
兵庫県22.4 東京都26.5
大阪府33.5

静岡県16.1 (23番)

3 新登録患者年齢構成

(静岡県…%)

区分	年齢別構成						
	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～
昭和36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
60	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平成15年	0.7	6.7	6.9	4.3	8.6	13.9	58.9
16	1.4	7.3	6.9	3.7	8.0	13.3	59.4
17	1.2	6.3	6.1	4.8	9.8	13.2	58.6
18	1.0	7.2	5.8	5.6	8.5	13.1	58.8



マンモグラフィ検診のおすすめ

政府は今年6月「がん対策推進基本計画」を国会に報告しました。今後10年間の全体目標には「がんの死亡率20%減少」を掲げ、個別目標には「がんの早期発見」をうたっており、そのためにがん検診の受診率引き上げを目標としております。

乳がんは毎年増え続け、がんの中でも増加率トップのがんです。しかし早期に発見すれば約90%の治癒が可能です。

当会では18年4月から乳がん検診車(マンモグラフィ装置2基搭載)により県内の市町へ、住民検診や事業所検診に伺っております。ご自身やご家族の安心のため、受付及び放射線技師すべて女性スタッフで対応している結核予防会の乳がん検診をご利用ください。

市町村保健センターの紹介

伊東市保健福祉センター

今年、市制施行60周年を迎えた伊東市は、恵まれた自然と豊かな温泉があり、とても住みやすい所です。一方で、糖尿病のSMRが県内で有意に高く、糖尿病の放置、血糖コントロール不良者が多い状況でもあります。そのため、平成18年10月に熱海健康福祉センターとともに伊東市糖尿病対策会議を立ち上げ、医師会等や、市民団体代表者と検討を重ねてきました。2年目の今年は、医療機関や行政が患者の情報を共有できるよう『伊東市版糖尿病手帳』を使い、診療や生活指導につなげています。また、食協健診や健康まつり等で簡易血糖検査やHbA1c測定などを実施し、糖尿病の早期発見に努めています。

また、市内には伊東市保健委員連絡協議会があり、各種検診のPRや、母子保健事業・介護予防事業等へのお手伝いをしています。また、結核予防婦人会伊東支部も兼ね、結核予防の啓発に努めています。保健委員自らの健康意識を高めるための活動とともに、行政と住民とのパイプ役として重要な役割を果たしています。

《乳がん検診》

伊東市では平成14年度から乳がん検診にマンモグラフィを導入しました。しかし、市内にはマンモグラフィ撮影施設が1箇所しかないため、受け入れ人数に制限があり、対象年齢を限定しての実施でした。平成18年度からは結核予防会のマンモグラフィ検診車を導入し、課題であった定員の拡大につなげることができました。そして、今年度は対象年齢の制限を外し、さらに定員を拡大し実施しています。申し込み開始初日から電話が鳴り続け、数日で定員に達してしまうほど、市民の方々の関心の高さが伺えます。しかし、マンモグラフィに対して抵抗感が強く、敬遠される方も少なくありませんでした。理由のひとつに男性技師への抵抗感があるようです。結核予防会のスタッフは全て女性であるため、受診者の印象は良く、今後の受診率向上の一助になると思います。

伊東市保健センター
健康推進課 保健師 山口 陽子





複十字シール運動にご協力を

運動期間 8月1日～12月31日

結核などの胸の病気を撲滅するため、複十字シールを通じて事業資金を集めるために積極的に募金活動を行っています。

皆様の温かい善意の募金は、結核予防思想の啓発活動、検診車購入資金、さらには発展途上国の結核対策援助等の諸事業に充当しています。

今年も複十字シール募金へのご協力をお願いいたします。



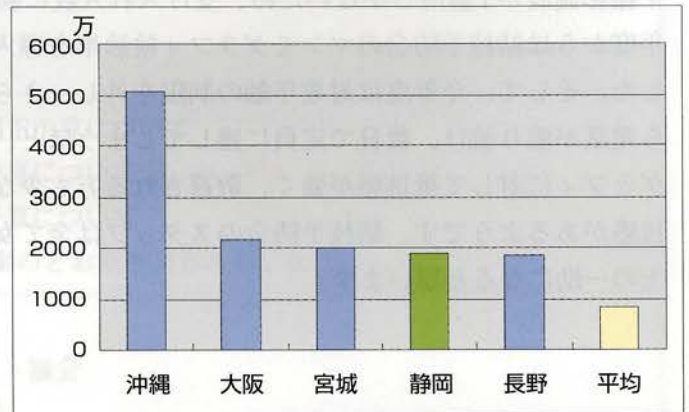
平成18年度募金実績

	18,812,429円
組織募金	16,922,512円
郵送募金	1,889,917円

19年度複十字シールの紹介

トランプの愉快な世界

本年度の複十字も安野光雅さんに依頼し「トランプの愉快な世界」です。子供も大人も楽しく遊べ、幸せな時間をもたらしてくれるトランプの世界が描かれ、皆様の心を穏やかに、幸福な気持ちにさせてくれるカラフルで温かいデザインです。



複十字シール運動一口メモ ①歴史

この運動は1904年デンマークで始められた世界共通の運動で約100年の歴史があります。募金媒体としてシールが使われ、結核撲滅のため、現在では世界80ヶ国以上でシールが発行されています。



お問い合わせは
財団法人結核予防会静岡県支部

電話：054-261-2512(代)
住所：〒420-0915 静岡市葵区南瀬名町6-20
E-mail tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp
URL <http://www.jatahq.org> (財団法人結核予防会)

結核予防週間によせて

平成19年9月24日(月)～30日(日)

わが国の結核の現状は、年間約3万人の新規患者が発生し、約2千人が亡くなっており、世界的にも結核の中まん延国として位置付けられていることから、引き続き十分な注意が必要です。

また、本年4月に結核予防法が感染症法に統合され、いままで以上に正しい知識の普及啓発活動に努めなければなりません。

今年の結核予防週間は、『忘れていませんか、結核～今でも年間約3万人が新たに発症しています～』をテーマに実施します。

この一週間を、誰にでもかかる感染症「結核」の撲滅のための再スタートとして、国民一人一人に理解と協力が得られるように知識を深め、結核対策の推進に一丸となって取り組むことが必要であります。

浜松市における複十字シール募金の状況

浜松市では募金活動が自治会によるものと結核予防婦人会によるものと二本立てで実施しています。

自治会では、平成3年度まで一世帯募金額は20円、平成4年度から30円になり現在に至っております。この10円の増額は役員と、事務局の2年がかりの行政への働き掛けで実現したものです。自治会の募金額は毎年目標額を上回り、平成16年度は5,285,613円となりました。平成17年度は市町村合併に伴い、再び吉田支部長と事務局の大変な努力がありました。周辺11市町村の連合自治会長さんを訪ね、旧浜松市の募金活動に協力をお願い致しました。その結果平成17年度の募金額は、6,786,365円となりました。

浜松市の自治会による募金は静岡県内の募金額に貢献させて頂いているものと思います。

活動の趣旨を一人でも多くの方に理解して頂く努力が大切ではないでしょうか。



事業所の宛名書き
発送準備の様子です！



結核予防婦人会の募金活動

婦人会の募金活動は、平成2年度に始まりました。活動の原動力は御殿場の東山荘での研修会に参加した者の貴重な体験を役立てたいとの願いからです。吉田支部長を中心に事務局の協力で募金活動の基盤ができました。

婦人会は地域の事業所を対象に1口1,000円以上で実施しました。資料のお願い文書、趣意書、パンフレットを渡し募金活動の趣旨も伝えます。募金を頂いたお礼に封筒セットを渡します。募金が頂けなくても資料を渡し啓発活動も大切にし、次回の募金に期待をします。

最初の募金活動の結果は245件、実績額は408,600円でした。次年度に向け新役員が活動に取り組みやすいよう前年度募金して頂いた事業所にお礼とお願いの文書を事前に郵送することにしました。平成4年度は1,027件、実績額は1,488,000円となりました。現在は経済情勢により件数、実績額共に減少しています。

初心を忘れず着実に活動を続けて参ります。

静岡県結核予防婦人会 浜松市支部 山崎 智子

結核予防週間キャンペーンの実施

- 当支部では、静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して実施します。
 - 1：実施日平成19年9月22日(土)
 - 2：場所アピタ静岡(静岡市駿河区石田)
 - 3：内容パネルの展示や、シールぼうやとともに「忘れていませんか、結核～今でも年間約3万人が新たに発症しています～」をテーマに結核予防のパンフレット、ポケットティッシュ、風船などを配布し、結核予防を呼び掛ける。
- その他、広報活動として、静岡鉄道株式会社の協力により、静岡市内を中心に路線バスや電車で結核防週間に関するポスターを掲示、駅やバスの車内で、電光ニュースを流します。
- 各市町の健康まつりなどで、当支部職員の協力(普及啓発活動、追加住民検診)、各種パネルやシールぼうやの着ぐるみを貸し出ししています。

➡お問い合わせは、静岡県支部 総務課 鈴木 迄

平成19年度静岡県結核予防婦人会理事会及び総会の開催報告



『平成19年度静岡県結核予防婦人会理事会
(支部長・事務局担当職員合同会議) 及び総会』
また総会終了後、講演会を開催しましたのでご報告いたします。

● 理事会 ●

日 時	平成19年6月29日(金) 午前10時30分～
会 場	静岡音楽館A O I 7階 講堂
議 題	第1号議案 平成18年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 平成19年度事業計画及び収支予算について 第3号議案 その他 第1号・第2号・第3議案について審議し原案のとおり承認されました。
合同会議	(1) 最近の結核の発生状況等について (静岡県疾病対策室) (2) 平成19年度複十字シール募金運動について (3) 第11回結核予防関係婦人団体中央講習会出席者の概要報告 (富士支部長)

● 総 会 ●

日 時	同 日 午後1時～
会 場	同 会 場
議 事	第1号議案 平成18年度事業報告及び収支補正予算について 第2号議案 平成18年度事業報告及び収支決算について 第3号議案 平成19年度事業計画及び収支予算について 第1号・第2号・第3議案について審議し原案のとおり承認されました。
講演会	演 題 「着物の所作と日常のマナー」 講 師 社団法人 全日本きものコンサルタント協会 増 井 典 子 先生 実演を交えてのわかりやすく楽しい講演でした。

平成19年度静岡県厚生部長表敬訪問



平成19年8月1日、静岡県結核予防婦人会土屋会長、山田副会長、結核予防会県支部増田常務理事による静岡県庁薬科一仁厚生部長への表敬訪問が行われました。

「複十字シール運動」の目的を広く県民に普及することを要旨とし、県内各地で行われる募金活動への協力を求めました。

薬科部長からは、「昔に比べて結核に対する意識の低下が懸念される。募金、啓発活動に県としても協力していきたい。」とのお言葉をいただきました。



結核予防会診療放射線技師研修会

●放射線技師研修会

平成15年度までは、結核予防会放射線技師の研修会は胸部を主として行われてきました。しかし、結核の発見率が低くなり、胸部中心から上部消化管、乳腺、アスベスト等広く研修を行う方向になり、また結核予防会技師だけでなく他の機関からも参加を募り、日本対がん協会との共催で、胸部・胃部・マンモグラフィ等を含め幅広い内容の研修をとおして、健康診断を受けられる方々の利益、技師の知識や技術向上を目指し、健診精度の充実を図って全国にある結核予防会の公益性を職員全体に推し進めております。この研修会は一日8時間から9時間を三日間行われ、参加者は半缶詰状態で研修に参加しております。

●胸部フィルム評価会

結核予防会結核研究所にて、その年度に撮影された胸部アナログ及びデジタル写真を全国支部に所属する医師や放射線技師が、予防会全支部より持ち込まれた約150前後のフィルム評価をA・B・C上・C中・C下・D・Eの7段階で行っている。C上までの評価が読影可能なフィルムになり、一項目でも最良の評価がなされなければA評価が与えられません。その結果は撮影された担当技師に報告され、精度あるX線写真の読影に生かされています。また、胃部写真やマンモグラフィは放射線技師研修会にて行なわれます。

結核予防会診療放射線技師研修会に参加して

平成18年度の研修会に参加して、いろいろな新情報を入手したり、意見交換をして全国の予防会の皆様との面識を得ました。

はじめに、乳がんの精密検査では、①問診＋視触診②精検用乳房X線撮影③細胞診＋組織診などがありますが、視触診・マンモグラフィ・超音波検診などは、乳腺疾患の診療に習熟した医師・技師が行うことが望ましく、視触診で医師が習熟していないと症例によってマンモグラフィや超音波検査などの使い分けが出来ないこと、また、技師が習熟していないとマンモグラフィ・超音波で写真病巣を現すことが出来ないことなどが理解できました。

石綿関連疾患では、石綿材はほとんど輸入材であり、ヨーロッパでは早くから使用を止めていましたが、日本では、旧厚生省が使用禁止を求めていたが、旧通産省では、便利さや経済性を優先していたため、ヨーロッパに比べて10年遅れて使用禁止になりました。したがって、日本では、これから中皮腫（アスベスト）が多く発病していくと予想されます。

胃がん検診では、検診精度向上として日本消化器集団検診学会の推薦している、新・胃X線撮影法を使用して、撮影者が胃部の読影が出来ること、また、胃透視中に、いち早く異常所見を見つけて、誰でもが解る（読影）写真を撮影することが大切であります。それには、自分自身の意識改革が必要であるし、努力も必要であります。

総括として、医療技術が進歩しているなか各検診機関では、今までの様な薄利多売や、ただ写真を撮影してくれば良いと言った様な検診は止めて、時代にあった装置及び考え方の意識改革を強く感じた研修でした。

期待される支部職員として、私たちが前向きな考え方をして、“面倒くさい・たいへんだ”などの言葉を出さないで、自分の出来る事を何でも嫌がらず率先して行えば良いのではないかと感じました。

(結核予防会静岡県支部 検診課 放射線技師 藤田 孝)



●●● コラム ●●●

こんにちは。4月から当会でお世話になっております、新米放射線技師の堀と申します。毎日が不安と緊張の連続ですが、新たな経験を沢山積み充実した日々を送っています。

私は検診では、胸部の写真を撮影しております。そこで感じることは、一見簡単そうに見えていた写真を撮ることが、難しいということです。先輩技師の方が撮影するのを見てると、すごいスピードで沢山の数の受診者の胸部写真を撮っていきます。「コツはありますか?」と聞いたところ、「慣れだ」という答えが返ってきました。

また写真は早いだけではなく、情報の詰まった上手な写真が必要だと思います。写真1枚撮るにしても奥が深いと感じます。

また、住民検診に行くことは、地域に根付いた素晴らしい仕事だなということです。住民の方とは写真を撮る以外は、「暑いですね」等のちょっとした会話しか交わしませんが、ある日受診者の数が少ない山のほうへ行ったとき、受診者の方に「こんな田舎でも人も少ないけど、年に1回検診を受けることで安心できるから来年も来てくださいね」と言われました。そこで私は住民検診はとても大事な行事なんだと知りました。地元静岡県の人々の健康を守る仕事に就けたことを嬉しく、そして誇りに思っています。

これからも自分なりに精一杯頑張りますので宜しくお願いします。



図書案内

新刊案内

改正感染症における結核対策 保健所の手引き 定価¥4,725-

**改正感染症法に基づく
結核の接触者健康診断の手引きとその解説** 定価¥2,730-

保健師・看護師の結核展望89号 定価¥1,995-

結核菌検査指針2007 定価¥3,150-



お問い合わせ先

財団法人結核予防会静岡県支部 総務課 鈴木迄

TEL 054-261-2512 FAX 054-261-9474

編集後記

今年の夏は暑かったです。自分は若かった頃、好きな季節は夏で、夏の終わり頃ふと秋を感じることがあると、ちょっと寂しささえ感じたものですが、今は夏より秋のほうが好きです。それにしても、岐阜と埼玉で40.9度を観測し、74年ぶりに国内最高記録を更新したということですから、その暑さは半端なものではありません。

この暑さのため、クールビズはすっかり定着し、通勤の電車内などでネクタイ姿の男性を見ることはほとんど無くなりましたが、熱中症と疑われる症状で医療機関に搬送される人が続出したり、クーラーのため電力使用量が過去最大になったことを聞くと、この国は熱帯になったのかと思ってしまいます。

「結核しずおか」最新号がお手元に届く頃には涼くなっているのでしょうか?...

(増田記)

題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：村木弘知（元県職員）